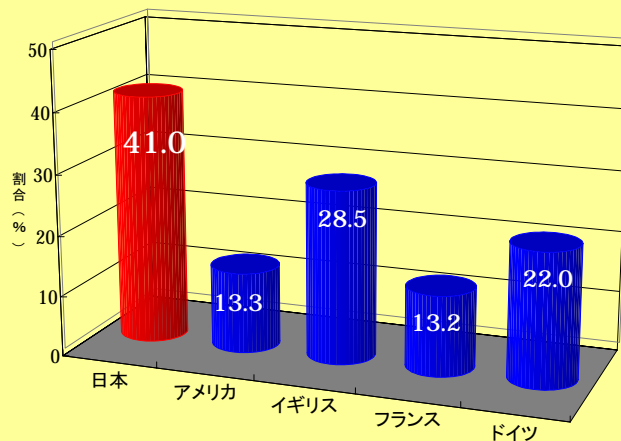


あんしん歩行エリアの整備の背景

- 交通事故死者数のうち歩行者・自転車利用者の割合が約4割を占め、欧米と比べると高い割合となっている
- 歩行中の交通事故による死者の約6割は自宅から500m以内で事故に遭っている
- その背景の1つとして、我が国の都市部における道路面積率が、欧米と比べ低いことが考えられる

交通事故死者数に占める歩行者・自転車利用者の割合(30日以内死者)



| | 歩行者 | 自転車利用者 | 全死者数 | 割合 |
|-------------|-------|--------|--------|-------|
| 日本 | 2,835 | 1,285 | 10,060 | 41.0% |
| アメリカ | 4,882 | 728 | 42,116 | 13.3% |
| イギリス(2000年) | 889 | 131 | 3,580 | 28.5% |
| フランス | 822 | 256 | 8,160 | 13.2% |
| ドイツ | 900 | 635 | 6,977 | 22.0% |

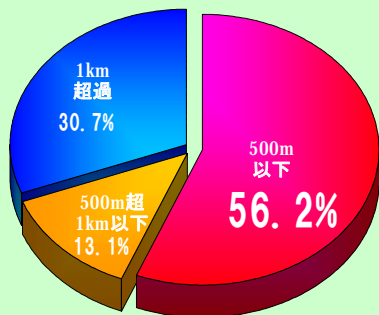
※国際道路交通事故データベース(IRTAD)による。
※事故データはイギリスを除き2001年中のものである。

道路面積率の国際比較

| | 道路面積率 |
|----------------------|-------|
| 東京(新宿副都心) | 22% |
| 東京(世田谷住宅地) | 25% |
| ニューヨーク(ミッドタウンマンハッタン) | 40% |
| ロンドン(シティ) | 33% |
| パリ(凱旋門周辺) | 42% |
| ベルリン(歴史的な中心部) | 39% |

※国土交通省資料による。
※道路面積率:単位面積当たりの道路面積。

歩行中の自宅からの距離別死者数(平成14年中)



| | 500m以下 | 500m超 1km以下 | 1km超過 | 計 |
|-------|--------|-------------|-------|-------|
| 死者(人) | 1,340 | 312 | 732 | 2,384 |
| 割合(%) | 56.2 | 13.1 | 30.7 | 100 |